

通 告 順	議席番号	通 告 者
6	17	佐 藤 實

1 防災無線と災害FMについて

東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県の沿岸自治体で、防災行政無線の復旧が順調に進み、4月中旬までに、震災前の約9割に回復したことが分かったようだ。

しかし一方では、津波被害が大きく、住民が避難した地域では復旧が進んでおらず、工事関係者や自宅を修理して戻ってきている住民の方々への情報伝達が課題となっていることも判明した。そこで本町における次の点を伺う。

- (1) 当面、災害発生時の情報入手は携帯電話やラジオに頼らざるを得ないが、当局の考えは。
- (2) 災害FMあおぞらが来年3月で廃止になるが、FM局の新設開局はあるのか。

2 被災した地域の安全対策・防犯対策について

復興に向けて進んでいることはわかるが、形が見えてこない。被災に遭われた方々に少しでも安心してもらえるよう、次の点を伺う。

- (1) 最大余震や津波がいつくるかわからない状況において、自宅を修復して戻っている方、戻ろうとしている方々が一番心配しているのは、海岸の堤防・避難道路建設の進捗状況がわからないことである。どこまで進んでいるのか。
- (2) 自宅を修理して戻ってきている住民への、自宅付近の防犯対策について。

通 告 順	議席番号	通 告 者
7	15	島 田 金 一

1 阿武隈川河口部荒浜地区災害復旧事業について

3月定例議会で災害復興の実施計画について何点か質問した。集団移転地域に係わる関係者との面談、聞き取りはおおむね完了したと聞いている。

また、4月24日から28日にかけて「阿武隈川河口部荒浜地区災害復旧事業 第2回事業説明会」があった。以上を踏まえて質問する。

- (1) 5月末現在の荒浜地区(本郷地区を除く)と吉田東部地区の世帯数、人口はどうなっているのか。当該地区から、その他の亘理町内に移っている方の世帯数及び人口を把握しているのか。住所は町内に置き、亘理町以外に住んでいる方の世帯数及び人口は。また震災以降に町外に転出した方の世帯数及び人口は。
- (2) 再生期最終年となる平成27年度の予測人口はどのような目標にしているのか。
- (3) 「阿武隈川河口部荒浜地区災害復旧事業」で土地、建物が買収される。残地を計画的に整理する必要がある。町として居住区がどのようなようになるのか、実施計画案を提示して、町民の考えを聞きながら修正等を行い、合意形成をはかる必要があると思われる。

また、ライフライン(電気・水道・下水道)も移転しなくてはならない。いつ頃までに該当地区にライフラインが完成できると予測されるか。

通告順	議席番号	通告者
8	2	高野孝一
1 復興計画における津波対策の進捗状況について (1) 荒浜地区の2号排水路沿いの嵩上げ道路の実施計画はどうなっているか。 (2) 吉田地区の橋本掘沿いの嵩上げ道路の実施計画はどうなっているか。 2 地元企業訪問について 従業員を抱える事業所の中で、震災後仕事の受注が激減しているところもある。これからの大震災復興事業等で、資材調達など、できる限り地元の事業所を活用すべきと考える。企業訪問をして、企業の状況を把握すべきではないか。		

通 告 順	議席番号	通 告 者
9	1	鈴 木 洋 子

1 放射能対策について

(1) 阿武隈川においては放射性物質の影響によって、魚から規制値を超える放射性セシウムが検出されている。亘理町では水道水として一部、阿武隈川から取水しているが、将来的に水道水に放射性物質が入ることがないか心配である。今後阿武隈川からの取水を止めて、七ヶ宿の水を選択する考えはあるか伺う。

(2) 町内で生産される農産物から、放射性セシウムは検出されているか伺う。

(3) 町民の不安解消のため放射能に関する意識調査や、どのような対策をしてほしいかなどの声を聞くために、アンケートをしてみてもどうか。